

【参考】「進捗管理・点検・評価表」において設定したKGI及びKPIの進捗状況の確認について

「進捗管理・点検・評価表」の改訂案においては、目標値に対して実績値が想定どおり進捗しているか確認するため、KGI及びKPI第2階層について、下記の考え方により進捗状況を点検・評価。

【点検・評価の考え方】

「目標値」に対する「初期値（実績値として記載している一番古い値）」からのトレンドを想定し、KGI及びKPI第2階層の最新の実績値について、想定を上回っているかの点検・評価を行う。

【凡例】

- A : 「目標値」に対する「初期値（実績値として記載している一番古い値）」からのトレンドを上回っており、KGI及びKPIの進捗が順調である。
- B : 「目標値」に対する「初期値（実績値として記載している一番古い値）」からのトレンドを下回っており、KGI及びKPIの進捗が芳しくない。
- a : 具体的な数値ではなく数値の増（減）を「目標値」としているものについて、目標が達成されている。
- b : 具体的な数値ではなく数値の増（減）を「目標値」としているものについて、目標が達成されていない。
- N : 実績値を把握・公表する時期に至っておらず、評価不可。
- F : 定量的なKGI又はKPIが設定されていない。
(例：進捗状況のモニタリングを行っているのみ)

※ A, B のイメージ

